

令和5年度発掘調査等事業予定

1. 発掘調査事業

遺跡名	事業種別	所在地	調査予定期間	調査要因	備考
手光立花木遺跡	受託事業	手光	5~7月	福津消防署建設	
花見遺跡	受託事業	花見の里三丁目	8~10月	一般開発	

2. 文化財調査報告書作成事業

遺跡名	事業種別	所在地	発掘調査年度	調査要因	備考
宮司浜ノ久保遺跡第2地点	受託事業	宮司五丁目	令和4年度	一般開発	
津屋崎塙田遺跡第4地点	受託事業	津屋崎五丁目	令和4年度	一般開発	
在自西ノ跡遺跡第5次、第6次	単独事業	津屋崎八丁目	令和3、4年度	共同調理場兼教室複合棟建設	
上西郷ナカ力遺跡第1地点	受託事業	日蒔野五丁目	平成20、21年度	土地区画整理	
上西郷ナカミ遺跡	受託事業	日蒔野五丁目	平成23、24年度	土地区画整理	
大坪遺跡	受託事業	日蒔野五丁目	平成23、24年度	土地区画整理	
上西郷ヤミドウ遺跡	受託事業	上西郷	平成22年度	一般開発	
上西郷ジョウ遺跡第1地点	受託事業	日蒔野六丁目	平成18年度	土地区画整理	
上西郷ジョウ遺跡第2地点	受託事業	日蒔野六丁目	平成18年度	土地区画整理	
久末石原林遺跡	単独事業	久末	平成3年度	中学校グラント造成	
福正寺遺跡	受託事業	中央二丁目	平成6年度	一般開発	
津丸藤井遺跡	受託事業	あけぼの	平成13年度	土地区画整理	
向山遺跡	受託事業	花見が浜一丁目	平成19年度	一般開発	
宮司南田遺跡	受託事業	宮司二丁目	平成24年度	一般開発	
岩長裏遺跡	受託事業	中央五丁目	平成28年度	一般開発	
宮司志良部遺跡第1地点	受託事業	宮司二丁目	平成20年度	一般開発	

手光立花木遺跡発掘調査

所在地 : 福津市手光字立花木 2236-1 他
調査要因 : 福津消防署建設
調査期間 : 令和 5 年 4 月 20 日～同 5 年 7 月 24 日（予定）
調査面積 : 約 853 m²
調査担当者 : 文化財課文化財係 田上 浩司 高木 慎太郎

■地理的・歴史的環境

手光立花木遺跡は、手光今川中流域の沖積地から少し高い、海拔 13～14m の微高地に位置する。本遺跡は手光今川の沖積地を一望できる立地にあり、この沖積地を生産拠点とする人々の生活拠点とも考えられる。

周辺では手光於緑遺跡において、阿高式土器・鐘崎式土器・三万田式土器の土器片が包含層中から出土している。その他にも弥生前期～古墳前期までの土器をはじめ、多量の木製品も出土している。

■検出遺構・遺物

【遺構】

竪穴建物 1 棟、土坑 1 基、不明遺構 4 基（上面に焼土堆積）、小穴多数

【遺物】

縄文土器、弥生土器（弥生前期）、黒曜石

■所見

現在も調査を進めている状況であるため、現状の所見について述べる。本遺跡では縄文時代中期・後期、弥生時代前期、奈良時代の遺構・遺物を検出している調査区の東側と西側にそれぞれ別の尾根が走り、調査区中央部にはその尾根に挟まれた谷がある。遺構密度は尾根上から斜面にかけて多く、谷底においては密度が少ない。

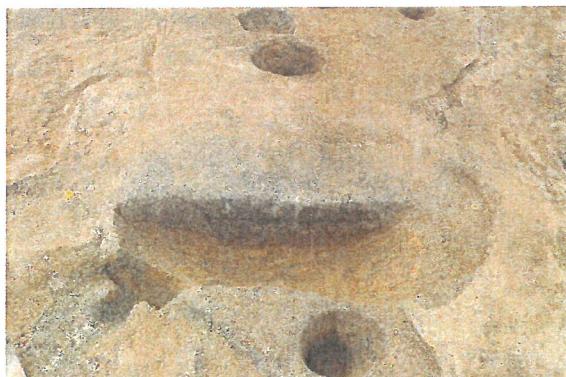
調査区東側斜面の 2 つの遺構から縄文土器が計 4 点出土している。このうち二つの土器は胎土に滑石を多く含むことから、縄文中期まで遡る可能性もある。

調査区西側（県道宮司手光線側）の尾根上に竪穴建物と想定している遺構を検出した。平面形は長楕円形を呈すると考えている。弥生時代前期と考えられる甕や黒曜石（この場所に集中している）が出土している。

調査区東側の尾根上において、焼土が上面に堆積した遺構を 4 基検出している。焼土層の下の層より細片の土器が出土しているが、時期の判断が難しい。他地域の遺跡で見つかっただ繩文時代の炉跡と堆積状況が類似しており、今回検出したものもそれに相当するものと考えている。



手光立花木遺跡位置図 (S = 1/5000)



縄文土器出土土坑 (SK-02)



竪穴建物土層堆積状況 (SC-01)



焼土堆積小穴① (SX-03)



焼土堆積小穴② (SX-04)